※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和8年度　外国語科

科目	韓国朝鮮語初級会話 A	単位数	1
使用教科書	なし		
副教材等	基礎から学ぶ韓国語講座初級」　(国書刊行会)		
レポート	３通		
必要出席回数	４回		
テスト	１回		

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

韓国朝鮮語は日本語と語順がほぼ同じで、漢字語もあり、発音が良く似ています。
韓国朝鮮語初級会話のスクーリングではハングルが読み書きできることを前提に、韓国朝鮮語の基本的な会話を正しく「聞き取ること」「話すこと」、文章を「書くこと」「読むこと」の4技能をしっかりと身につけることができるように学習を進めていきます。日頃から教材の CD、ストリーミング音声をよく聴いておいてください。
正しい文法と発音を理解するためにも、スクーリングには多く出席してください。

２　学習の到達目標

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・平音、激音、濃音の違いを理解し、聞きわけることができる。 ・어/오, 여/요, 우/으の母音の違いを理解し、聴き分けることができる。 ・ゆっくりまたは、はっきりと発音されれば、基本的な会話文を理解できる。	・身につけた文法力を駆使し、ある程度まとまった会話文のかたまりを読み解くことができる。	・日常生活での簡単なやりとりが、正しい発音で表現できる。 ・教科書で扱われた表現を活用して、自分自身に関することを表現できる。	・発音法則を理解し、正しい発音法則にのっとって発話ができる。 ・ピッチの違いを理解し、話すことができる。	・動詞、形容詞、存在詞を正しく해요体に変格することができる。 ・基本的な助詞をパッチムの有無に応じて書き分けることができる。 ・単語と語尾、助詞の連なりを理解し、正しく離し書きができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、実際のコミュニケーションにおいて、その場面や状況に応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現し伝えあったりしている。	・基本的な会話を正しく「聞き取ること」「話すこと」、文章を「書くこと」「読むこと」1に対して自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の 6 以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	６課：貿易会社で働いています。 ７課：服を買います。 ８課：スーパーで良く買います。 ９課：２万５千ウォンです。 １０課：今、何時ですか？	聞くこと	a.　韓国･朝鮮語の音声の特徴を理解している b.　韓国･朝鮮語の挨拶について必要な情報を聞き取っている c.　韓国･朝鮮語の挨拶について必要な情報を聞き取ろうとしている	レポート スクーリング テスト
		読むこと	a.　韓国･朝鮮語の発音の特徴を理解している b.　韓国･朝鮮語の発音を使うことができる c.　韓国･朝鮮語の発音を使おうとしている	レポート スクーリング テスト
		話すこと （やり取り）	a.　韓国･朝鮮語の挨拶を会話の状況に応じて使うことができる b.　韓国･朝鮮語の挨拶を会話の状況での使い分けを理解している c.　韓国･朝鮮語の挨拶を会話の状況に応じて適切に使おうとしている	レポート スクーリング
		話すこと （発表）	a.　韓国･朝鮮語の挨拶を会話の状況に応じて使うことができる b.　韓国･朝鮮語の挨拶を会話の状況での使い分けを理解している c.　韓国･朝鮮語の挨拶を会話の状況に応じて適切に使おうとしている	レポート スクーリング
		書くこと	a.　韓国･朝鮮語のハングルの特徴を理解している b.　韓国･朝鮮語のハングルを正確に筆記することができる c.　韓国･朝鮮語のハングルを使い文章を書く努力をしている	レポート スクーリング テスト
	試験			

※　表中の観点について：a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度